

志木小学校だより

平成30年度6月号



学校地域教育目標

あいさつのできる子

思いやりのある子

地域を大切にする子

意欲的に学ぶ子

6/1児童数 720名

思いを叶えるためには！

校長 坂口 栄二



校庭のやまぼうし

あいさつしていますか？

暑くなったり寒くなったり、体調管理がとても難しい気候が続きました。最近は、「西の方ではいよいよ梅雨入りか」というニュースも流れています。梅雨入りすると食中毒の心配も出てきます。体調管理をしっかりして、毎日を元気に過ごしたいですね。

さて、私は毎朝、正門であいさつ運動をしています。昨年4月に赴任した時よりも、たくさんの子供たちが**大きな声で明るく元気にあいさつ**してくれます。私も毎朝、**子供たちから元気ももらっています**。

子供の中には、近くまで寄ってきてあいさつしてくれる子もいます。ハイタッチをしてくれる子もいます。私の目をしっかり見てあいさつしてくれる子、控えめにお辞儀してくれる子など、様々な様子であいさつをしてくれます。**一人一人個性がある**と感じます。

しかし、あいさつができない子供もいます。**あいさつができないままだと、社会に出たとき苦労する**のではないかなと思ひ、心配です。

あいさつは人と人とを結ぶ魔法の言葉です。元気にあいさつを交わすことで、**よい人間関係をつくるきっかけ**となります。すべての人が、**自分から自然にあいさつ**ができるようになって、**人間関係のよい社会**になってほしいと願っています。

思いを叶えるために、自分に合った工夫を！！

4月号で「日々努力していれば、思いや願いは実現する。毎日思いや願いをもって過ごしてほしい」と書きました。5月号では、「人は期待されたとおりの結果を出す傾向がある」と書きました。しかし、思いや願いをもって、期待しながら日々努力しているだけでは、大きな効果は上がるとは限りません。**思いを叶えるために、自分に合った何かしらの工夫**をすることが大切です。

例えば漢字を覚えるとき、漢字を見るだけで覚える人もいるでしょう。何度も書くことで覚える人もいるでしょう。実際に使うことで覚える人もいるでしょう。覚え方にも個性があるのです。**それぞれの個性に合わせて工夫することが大切**です。

私も朝のあいさつ運動では、**一人一人に合った工夫**をしています。お辞儀してくれる子にはお辞儀をする、目を見てあいさつしてくれる子にはしっかり目を見てあいさつするなど考えながらあいさつしています。

家庭・地域でも自然なあいさつを！！

あいさつできない子は、あいさつの習慣がないと考えています。「いつでも、どこでも、だれにでも」あいさつができるように、家庭・地域の皆様にもご協力をお願いします。

先日の民生委員・児童委員様との話し合いでも、**しっかりあいさつしてくれる子がいると気持ちがいい**というお話がありました。ただ、今の時代、**声をかけることも難しい**というお話もいただきました。学校・家庭・地域の皆さんが**自然なあいさつができるコミュニティ**をつくっていくことが必要だと思います。それぞれの立場で一人一人ができる、ご支援・ご協力をお願いいたします。

あいさつだけでなく、**子供たちの思いが叶うよう、一人一人に合った工夫**を考え、努力してほしいと思います。こちらもご支援・ご協力をお願いいたします。

